

定 住 自 立 圏

中 心 市 宣 言 書

令和 6 年 5 月 24 日

岩 見 沢 市

目 次

中心市宣言	…	1 ページ
1 都市機能の集積状況	…	2 ページ
2 近隣市町からの都市機能利用状況	…	4 ページ
3 連携に向けたこれまでの取組み	…	5 ページ
4 連携が想定される取組み	…	6 ページ
5 連携の意思を有する近隣市町	…	8 ページ

中 心 市 宣 言

岩見沢市は、北海道の中西部、夕張岳を望む石狩平野の東端に位置し、地域の西部には石狩川流域低地である平野が広がり、東部には夕張山地へと続くなだらかな丘陵地帯が続いています。

北海道内では比較的古い歴史を持ち、隣接する三笠市での石炭採掘をきっかけとして早くから鉄道や道路などが整備され、炭鉱の閉山後も、当市を中心として八方に伸びる鉄道や道路などの恵まれた交通網と、石狩川がもたらす肥沃な大地を背景に、豊かな農産物などの集積基地として発展を続けてきました。

現在も岩見沢市は、北海道最初の鉄道である官営幌内鉄道の一部であるＪＲ函館本線や、かつて長大な石炭列車が頻繁に往来したＪＲ室蘭本線の２つの鉄路と、国道１２号や国道２３４号、さらには道央自動車道など、主要な幹線道路が接続する北海道の交通の要衝であり、行政や経済、医療や福祉、教育などの都市機能が集積する空知の中心都市となっています。

人口減少社会を迎え、南空知圏域の人口規模も縮小する中においては、豊かな未来を築いていくために９つの市町が共通のビジョンを描き、行政事務の効率化や経営資源の共同利用等、一つひとつの地域課題に広域的に取り組む、住民に対する質の高いサービスを持続的に提供していく必要があります。

このことから、岩見沢市は、近郊８市町と手を取り合い、地域の拠点都市としての役割を果たしながら、将来にわたって誰もが安心して暮らし続けられる活気ある南空知圏域の形成に全力で取り組んでいくことを、ここに宣言します。

令和６年５月２４日

岩見沢市長 松野 哲

1 都市機能の集積状況

岩見沢市における公共施設等による各種サービス機能、医療・福祉機能、大規模商業・娯楽機能、その他の行政及び民間分野に係る都市機能の集積状況は、概ね次のとおりです。

都市機能	施設名等
医療機関	病院 8 機関、診療所 5 7 機関、歯科診療所 4 4 機関
公的医療機関	岩見沢市立総合病院、岩見沢市立栗沢病院 (独)労働者健康安全機構北海道中央労災病院
初期救急医療機関	岩見沢市夜間急病センター
二次救急医療機関	岩見沢市立総合病院、岩見沢市立栗沢病院 (独)労働者健康安全機構北海道中央労災病院 医療法人萌佑会岩見沢脳神経外科 医療法人北翔会岩見沢北翔会病院
総合周産期母子医療センター	岩見沢市立総合病院
災害拠点病院	岩見沢市立総合病院
福祉施設等	
児童福祉施設	児童養護施設 1 施設 認可保育所 1 2 施設 へき地保育所 1 施設 小規模保育事業所 4 施設 幼稚園型認定こども園 2 施設 保育所型認定こども園 3 施設 助産施設 1 施設
障がい者支援施設等	就労移行支援 2 施設 就労継続支援 (A 型・B 型) 3 0 施設 計画相談支援、障害児相談支援 1 6 施設 地域移行支援、地域定着支援 6 施設 児童発達支援、放課後等デイサービス 3 9 施設 居宅介護、重度訪問介護 2 4 施設 同行援護、行動援護 7 施設 日中一時支援、移動支援 2 0 施設 施設入所支援、短期入所、共同生活援助 4 8 施設 生活介護 1 1 施設
高齢者福祉施設等	居宅介護支援事業所 1 7 施設 訪問介護 (ホームヘルプ)、訪問入浴介護 1 9 施設 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 1 施設 訪問看護 1 3 施設 通所介護、地域密着型通所介護 (デイサービス) 2 5 施設 通所リハビリテーション (デイケア) 5 施設 小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護 5 施設 認知症対応型共同生活介護 (グループホーム) 1 9 施設 特定施設入居者生活介護、地域密着型特定施設入居者生活介護 1 0 施設 介護老人福祉施設 (特別養護老人ホーム) 5 施設 介護老人保健施設 3 施設

都市機能	施設名等
教育	
大学	国立大学法人北海道教育大学 岩見沢校
専修学校	岩見沢市立高等看護学院 岩見沢市医師会附属看護高等専修学校 学校法人駒沢岩見沢学園 駒沢看護専門学校
高等学校	北海道岩見沢東高等学校、北海道岩見沢西高等学校 北海道岩見沢緑陵高等学校、北海道岩見沢農業高等学校
特別支援学校	北海道岩見沢高等養護学校
中学校	9校
小学校	14校
幼稚園	私立幼稚園 3施設
社会教育施設	岩見沢市立図書館、岩見沢郷土科学館、岩見沢市民会館・文化センター、岩見沢市絵画ホール、いわみざわ公園野外音楽堂、岩見沢市総合体育館、岩見沢市スポーツセンター、岩見沢市東山公園陸上競技場 (その他) 野球場、テニスコート、パークゴルフ場、プール、スキー場、トレーニングセンター、弓道場等
商業施設	大規模小売店舗 19施設
道路・交通網	
鉄道	JR 函館本線 (岩見沢駅、上幌向駅、幌向駅) JR 室蘭本線 (志文駅、栗沢駅、栗丘駅)
高速道路	北海道縦貫自動車道 (道央自動車道) 岩見沢 I C
道路	一般国道 12号、234号
路線バス等	市内 8 路線 (北海道中央バス)、 郊外 7 路線 (岩見沢⇄栗山、由仁、長沼、夕張、三笠、美唄、月形、北海道中央バス)、岩見沢⇄新篠津 (新篠津交通) 都市間高速バス 1 路線 (岩見沢⇄札幌)
公的機関	
【国の機関】 国土交通省	北海道開発局札幌開発建設部 岩見沢道路事務所、 岩見沢農業事務所、岩見沢河川事務所
法務省	札幌法務局 岩見沢支局、札幌地方検察庁岩見沢支部、 岩見沢区検察庁
財務省	岩見沢税務署
厚生労働省	岩見沢労働基準監督署、岩見沢公共職業安定所、 日本年金機構 岩見沢年金事務所
農林水産省	空知森林管理署
防衛省	陸上自衛隊 岩見沢駐屯地
裁判所	札幌地方裁判所岩見沢支部、札幌家庭裁判所岩見沢支部、 岩見沢簡易裁判所
北海道	空知総合振興局、空知教育局、岩見沢保健所 (空知総合振興局保健環境部)、岩見沢児童相談所 (空知総合振興局保健福祉部)、札幌建設管理部岩見沢出張所、空知農業改良普及センター、空知家畜保健衛生所、岩見沢食肉衛生検査所、 (地独) 北海道立総合研究機構 中央農業試験場水田農業部

2 近隣市町からの都市機能利用状況

令和3年1月に、居住地区や年齢階層ごとに無作為抽出した南空知圏域9市町の満18歳以上の住民11,000人を対象として実施した「南空知広域圏基礎調査」によれば、圏域内の多くの住民が日常的に岩見沢市内の生活関連サービスを利用していることがわかります。

【南空知広域圏基礎調査 調査対象数等】

市町名	対象者数	回答者数	回答率
岩見沢市	5,704人	2,462人	43.2%
夕張市	543人	216人	39.8%
美唄市	1,477人	475人	32.2%
三笠市	586人	226人	38.6%
南幌町	533人	222人	41.7%
由仁町	355人	183人	51.5%
長沼町	755人	303人	40.1%
栗山町	823人	330人	40.1%
月形町	224人	95人	42.4%
無回答	—	80人	—
圏域計	11,000人	4,592人	41.7%

【岩見沢市内の施設等を利用している人の割合】

	岩見沢市	夕張市	美唄市	三笠市	南幌町	由仁町	長沼町	栗山町	月形町	圏域計
通勤・通学	34.3%	0.0%	7.6%	14.6%	2.7%	3.8%	2.3%	8.2%	4.2%	21.0%
娯楽・趣味	22.1%	6.9%	10.7%	15.0%	3.2%	2.2%	0.3%	10.3%	12.6%	15.3%
買い物 食料品・日用品	73.6%	14.8%	17.5%	36.7%	4.1%	2.2%	3.3%	12.7%	50.5%	46.2%
買い物 食料品・日用品以外	45.0%	22.7%	22.5%	38.9%	5.9%	7.7%	4.6%	27.6%	43.2%	33.2%
外食	40.0%	14.8%	27.6%	42.0%	2.7%	7.1%	2.6%	20.9%	40.0%	30.0%
公園・スポーツ施設	24.9%	0.5%	5.3%	13.3%	2.3%	1.6%	1.3%	4.2%	6.3%	15.3%
文化施設 図書館など	24.8%	0.0%	3.2%	10.6%	0.5%	0.5%	0.7%	1.8%	3.2%	14.4%
入院・入所	16.1%	2.8%	5.1%	10.6%	0.5%	1.6%	0.0%	5.2%	7.4%	10.4%
通院・通所	43.5%	12.0%	18.7%	38.9%	0.5%	5.5%	1.7%	14.5%	30.5%	29.7%
子どもの送迎 部活・塾など	14.0%	0.0%	2.1%	4.0%	0.5%	2.2%	1.0%	2.1%	2.1%	8.3%

3 連携に向けたこれまでの取組み

岩見沢市は、定住自立圏の形成に向けて、圏域の他市町とともに、連携に向けた取組みをすすめてまいりました。

令和２年度からは、北海道の広域連携加速化事業を活用し、「防災」「公共交通」「ＩＣＴインフラ」の３分野において、広域連携の取組みを進めてきており、これらの分野においては、今までの取組みの継続と強化を図ります。

年度	連携分野		
	防災	公共交通	ＩＣＴインフラ
令和２年度	<共通> ・住民アンケート調査 ・共通地図の配付		
令和３年度	・合同研修会	・地域公共交通セミナー	・広域における ICT インフラ活用の検討
令和４年度	・共同備蓄資機材購入 ・共同備蓄資機材設置訓練 ・合同研修会	・南空知フォトコンテスト ・地域公共交通セミナー	・高齢者向けスマートフォン講習会
令和５年度	・共同備蓄資機材設置訓練 ・合同研修会	・公共交通体験学習（バス・JR） ・圏域モデルコースパンフレット作成・配布 ・地域公共交通セミナー	・高齢者向けスマートフォン講習会 ・ヒグマ出没情報システム活用検証 ・合同研修会
令和６年度 （予定）	・共同備蓄資機材設置訓練 ・合同研修会	・公共交通体験学習（バス・JR） ・圏域モデルコースパンフレット作成・配布 ・地域公共交通セミナー	・高齢者向けスマートフォン講習会 ・ヒグマ出没情報システム活用検証 ・合同研修会

4 連携が想定される取組み

岩見沢市は、地域住民の生活機能の維持・確保に圏域として取り組むため、近隣市町と以下の分野での連携を想定します。

（１）生活機能の強化に係る政策分野

①医療

- ・住民の安全・安心な生活を確保するための、圏域での医療体制の充実を図る取組み

②福祉

- ・圏域住民が住み慣れた地域での暮らしを継続していくための福祉サービスの確保を図る取組み

③教育

- ・心豊かで逞しい人材育成を目指し、圏域住民の学習機会の充実を図る取組み

④土地利用

- ・地域の特性を活かした適正な土地利用を図る取組み

⑤産業振興

- ・農産物や地場食材などの地域資源の活用による圏域経済の活性化を図る取組み

⑥環境

- ・圏域の自然環境保全、省エネルギーや温暖化対策等の環境問題の改善を図る取組み

⑦防災

- ・圏域住民の安全・安心を確保するための防災体制の充実を図る取組み

⑧その他

- ・①～⑦に掲げるもののほか、生活機能の強化に関する広域での取組み

（２）結びつきやネットワークの強化に係る政策分野

①地域公共交通

- ・圏域内における公共交通の利用増、公共交通体系の維持・確保を図る取組み

②ＩＣＴインフラの整備と利活用

- ・圏域住民への効率的で利便性の高いサービスの提供と情報ディバイドの解消を図る取組み

③道路等の交通インフラの整備

- ・豪雪地帯における道路課題の克服等、人流・物流のための道路・交通インフラの改善を図る取組み

④地域の生産者や消費者等の連携による地産地消

- ・圏域内で生産される農産物等の域内消費を図る取組み

⑤地域内外の住民との交流と移住・定住の促進

- ・圏域における交流・関係人口の獲得、移住・定住の促進を図る取組み

⑥その他

- ・①～⑤に掲げるもののほか、結びつきやネットワークの強化に関する広域での取組み

(3) 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野

①人材の育成

- ・ 今後の圏域づくりをリードする市町職員並びに住民や民間人材の養成を図る取組み

②外部人材の活用

- ・ 圏域のまちづくり、地域づくりに資する、圏域外人材の活用を図る取組み

③職員交流

- ・ 圏域内市町職員の合同研修等を通じて、地域の将来を担う行政職員の育成を図る取組み

④その他

- ・ ①～③に掲げるもののほか、圏域マネジメント能力の強化に関する広域での取組み

5 連携の意思を有する近隣市町

(1) 岩見沢市への通勤通学割合が 0.1 以上の市町

岩見沢市への通勤通学割合が 0.1 以上であり、定住自立圏構想の趣旨に基づき、岩見沢市と連携する意思を有する市町は次のとおりです。

美唄市、三笠市

	常住する就業者数及び通学者数（15 歳以上）		通勤通学割合
	※ 自宅に従業、従業員地・通学地 不詳除く	うち岩見沢市への就 業者・通学者数	
美唄市	8,341 人	976 人	0.117
三笠市	3,069 人	896 人	0.292

（令和 2 年国勢調査）

(2) 岩見沢市への通勤通学割合が 0.1 未満の市町

岩見沢市への通勤通学割合は 0.1 未満であるが、定住自立圏構想の趣旨に基づき、岩見沢市と連携する意思を有する市町は、次のとおりです。

夕張市、南幌町、由仁町、長沼町、栗山町、月形町



岩見沢市 企画財政部 企画室

北海道岩見沢市鳩が丘 1 丁目 1 番 1 号

電話 0126-35-4834

FAX 0126-23-9977